

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【公表番号】特表2017-511958(P2017-511958A)  
 【公表日】平成29年4月27日 (2017.4.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-017  
 【出願番号】特願2016-550756(P2016-550756)  
 【国際特許分類】

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【 F I 】

|         |       |   |
|---------|-------|---|
| H 0 5 B | 37/02 | Z |
| H 0 5 B | 37/02 | E |
| H 0 5 B | 37/02 | A |

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年2月2日 (2018.2.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

通信モジュール、コントローラ、ユーザインタフェース素子、及び不揮発性メモリを含む照明装置であって、

前記コントローラは、前記照明装置の出荷時新品状態が設定状態にある場合に、前記通信モジュールを介して ZigBee (登録商標) ネットワークへの ZigBee (登録商標) 出荷時新規接続を確立し、前記出荷時新品状態が設定状態にない場合に、出荷時新規接続を確立しないようにプログラミングされ、

前記ユーザインタフェース素子は、前記コントローラに結合され、複数の位置の間で物理的に作動可能であり、

前記不揮発性メモリは、前記ユーザインタフェース素子が前記複数の位置のうちの第 1 の位置にあることの表示を保存し、

前記出荷時新品状態が設定状態にない場合には、前記コントローラは、前記照明装置の切り離された後の A C 電源への再接続に際し、

前記ユーザインタフェース素子の感知された位置を、前記不揮発性メモリに保存された前記表示と比較すること、

前記比較に基づき、前記感知された位置が第 1 の位置と異なることを判断すること、及び

前記判断に応答して、前記出荷時新品状態を設定状態に変更すること、  
を実行するように更にプログラミングされる、照明装置。

【請求項 2】

前記ユーザインタフェース素子は、前記照明装置上の、前記照明装置が設置される際に人がアクセスできない位置に配置される、請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 3】

前記照明装置は照明スイッチである、請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 4】

前記照明装置は人感センサである、請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 5】

前記ユーザインタフェース素子は第 1 の位置へと付勢される押しボタンである、請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 6】

前記コントローラは、前記照明装置が前記 A C 電源から切り離される前に前記ユーザインタフェース素子が第 1 の位置にあることを感知し、第 1 の位置の表示を前記不揮発性メモリに保存する、請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 7】

前記ユーザインタフェース素子はディップスイッチである、請求項 6 に記載の照明装置。

【請求項 8】

装置の出荷時新品状態が設定状態にある場合に前記装置をネットワークに接続するステップと、

前記ネットワークへの接続に応答して前記出荷時新品状態を非設定状態に変更するステップと、

前記装置が A C 電源から切り離されているがエネルギー蓄積デバイスによって電力を供給されている間にユーザインタフェース素子の位置の変化を感知するステップであって、前記ユーザインタフェース素子は、前記装置の一部であり、且つ複数の位置の間で作動可能である、ステップと、

前記ユーザインタフェース素子の位置の変化の感知に応答して、前記出荷時新品状態を設定状態に戻すステップとを含む、ネットワークへの装置の接続を管理する、方法。

【請求項 9】

前記ユーザインタフェース素子は、照明装置上の、前記照明装置が設置される際に人がアクセスできない位置に配置される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記装置が前記 A C 電源から切り離されると、前記装置の前記エネルギー蓄積デバイスから電力を受け取るステップを更に含み、前記ユーザインタフェース素子の位置の変化を感知するステップは、前記装置が前記 A C 電源から切り離されると、前記ユーザインタフェース素子の位置の変化を感知するステップを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記装置が前記 A C 電源から切り離される前に前記ユーザインタフェース素子の位置を感知するステップと、前記装置が前記 A C 電源から切り離される前の前記ユーザインタフェース素子の位置の表示を保存するステップとを更に含み、

前記 A C 電源からの前記装置の切り離しに続いて前記ユーザインタフェース素子の位置の変化を感知するステップは、前記装置が前記 A C 電源に再接続される際の前記ユーザインタフェース素子の位置が、前記装置が前記 A C 電源から切り離される前の前記ユーザインタフェース素子の位置の保存された表示とは異なることを判断するステップを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】

通信モジュール及びコントローラを含む照明装置であって、

前記コントローラは、前記照明装置の出荷時新品状態が設定状態にある場合に、前記通信モジュールを介して ZigBee (登録商標) ネットワークへの ZigBee (登録商標) 出荷時新規接続を確立し、前記出荷時新品状態が設定状態にない場合に、新規接続を確立しないようにプログラミングされ、前記出荷時新品状態が設定状態にない場合には、前記コントローラは、ある期間内に照明装置に供給された電力のオン/オフサイクル数をモニタリングし、オン/オフサイクル数が閾値を満たす場合に、前記出荷時新品状態を設定状態に変更するように更にプログラミングされる、照明装置。

【請求項 13】

装置の出荷時新品状態が設定状態にある場合に前記装置を ZigBee (登録商標) ネットワークに接続するステップと、

ZigBee (登録商標) ネットワークへの接続に応答して前記出荷時新品状態を非設定状態

に変更するステップと、

ある期間内に前記装置に供給された電力のオン／オフサイクル数をモニタリングするステップと、

前記オン／オフサイクル数が閾値を満たす場合に、前記出荷時新品状態を設定状態に変更するステップとを含む、ネットワークへの前記装置の接続を管理する、方法。